

お客様へ

- この取扱説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、大切に保管し、必要な場合にお役立ててください。

安全のために必ずお守りください

警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定されるもの

- 器具の改造、部品の変更、器具の塗装などは行わないでください。（火災・感電・落下のおそれ）
- 万が一、煙が出たり、異臭がするなどの異常を感じられた場合、すぐに電源を切り、販売店、工事店にご連絡ください。（異常のまま使用すると火災、感電のおそれ）
- 器具の隙間などに金属類を差し込まないでください。（火災・感電のおそれ）

注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害または家屋や家財などの物的損害の発生が想定されるもの

- お客様自身で工事をなさらないでください。工事には電機工事士の資格が必要です。（火災・感電のおそれ）
- 加熱源となるような設備の上には設置しないでください。（加熱して火災のおそれ）
- 器具の発光部を直視しないでください。（目を痛めるおそれ）
- 連続調光を利用する場合、指定の制御装置と組み合わせてください。（過熱して火災のおそれ）
- 安全に明るさを維持させてご利用いただくため、1年に1回の保守・点検を行ってください。
- 点検・保守の際、必ず電源を切り、器具が冷えてから行ってください。（感電ややけどのおそれ）
- 耐塩害仕様で設計しておりますが、塩害地域内でも条件によっては高濃度の塩分付着があったり、付着した塩分が蓄積し、腐食を促進させる場合があります。雨水を受けない場所での設置は安全にご使用いただくため散水による定期的な洗浄及び点検が出来る場所への設置をお願いします。（腐食による器具落下防止のため）
- この器具は初期照度補正機能付照明器具です。定格出力の約80%の光束を保つように設計されております。
※連続調光使用時、初期照度補正機能は解除されます。（ただし、点灯時間はカウントし続けます）
- 別売の照明制御機器との組合せをする場合、付近の機器・設備からの影響で正常に動作しない場合があります。事前に動作確認をお願いします。
- LED照明器具（電源部含む）には、寿命があります。
設置して8～10年が経過すると、外観に異常はなくても、内部の劣化が進行しています。点検、交換をお勧めします。
※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯（JIS C 8105-1解説より）
- 周囲温度は、取扱説明書に記載されている範囲で使用してください。（不点・短寿命のおそれ）
本器具は、周囲温度が40℃以下で使用するよう設計されております。夏季など一時的な使用温度の上限は60度です。（上限温度でのご使用は、短寿命になります。）
- 高温環境での使用や点検せずに長期間使用し続けると、まれに短寿命・故障・発煙・発火・感電のおそれがあるので点検を実施下さい。
- この照明器具は、器具の周囲温度が著しく上昇した場合、安全のため出力を制限する制御を行います。
高温環境となった場合、暗くなることがありますが異常ではありません。
周囲の温度が低下すると、元の出力に戻ります。（故障の抑制のため）

器具のお手入れ

汚れを落とす場合、薄めた中性洗剤を柔らかい布につけ、良くしぼってからふき取り、洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で拭き上げてください。
有機溶剤、磨粉、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

注意：点灯中、及び消灯直後の器具を清掃しないでください。(火傷の危険)

保証について

保証期間は商品お買い上げ日より1年間です。

お願い

- LEDにはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合がありますが、異常ではありません。
- LED光源の交換はできません。交換の際は、器具ごと交換ください。
- 壁面や床面などへの照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

異常時の
処置

警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切ってください。
(火災・感電の原因)
煙がでなくなるのを確認して、工事店または右記連絡先にご相談ください。

NEC 照明器具

372-399 DRGE17H**(MP) セツメイショ①

製品取扱説明書

LED高天井照明器具 初期照度補正機能付

型名：DRGE17H03(MP)G/N-PJX8 (5000K 配光角100°)

施工業者様へ

- 施工前に、この『取扱説明書』を必ずお読みの上、正しく施工してください。
- 施工後に、ご使用のお客様にこの『取扱説明書』を必ず渡してください。

安全のために守ること

- 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、警告、注意の表示にて区分し説明しています。

警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定されるもの

- 器具は下記の使用環境、条件では使用しないでください。
火災や漏電、感電、落下の危険が生じる可能性があります。
 - ・取付部の強度が十分耐えるものか確認してください。
 - ・器具・電源から出ている配線を持ったり、引っ張らないでください。
 - ・可燃材に接触する可能性のある場所での設置は禁止です。
 - ・強風が吹く場所、振動、衝撃の激しい場所への設置は禁止です。
 - ・引火する危険のある雰囲気では使用禁止です。（可燃性ガス、有機溶剤、粉塵、スプレー等）
 - ・酸、強アルカリなど腐食性ガス雰囲気、重塩害地域 では使用禁止です。
 - ・付近で殺虫剤などの散布はしないでください。（可燃性ガスや腐食性ガスが含まれる恐れあり）
 - ・器具を改造したり、部品変更したり、塗装などしないでください。
 - ・取付時に電線等を傷つけたり挟まないようにしてください。
 - ・屋外及び直射日光の当たる場所、また極端に湿度の高い場所では使用禁止です。

厳守

工事は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準、内線規定に従い行ってください

注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害または家屋や家財などの物的損害の発生が想定されるもの

- 器具の取り付けには十分注意を払ってください。
- 定格電圧（定格±6%以内）が規定値であるか施工前に確認してください。
- 電源電線は600Vキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用してください。
- 狭い閉ざされた空間では使用しないでください。照明器具が過熱し、火災や故障の原因となります。
- 本製品は高天井用の照明器具です。その他の用途では使用しないでください。
- LEDの光を直視しないようにしてください。目の障害の原因になる恐れがあります。
- 器具周囲温度が使用温度範囲を超える場所での使用は避けてください。
- 直射日光の当たる場所は、器具本体が加熱される可能性があるため設置を避けてください。
- 本製品は、人が容易に触れるおそれのある場所に設置しないでください。（火傷、感電の可能性）
- 寒暖差の激しい場所での使用はできません。(器具内部の結露により、火災・感電の恐れあり)

お願い

- 周囲温度は-20～40℃の範囲でご使用ください。（夏季など一時的に60℃まで上昇する場所での使用は可能です。）
- 温泉地など硫黄成分が含まれたガスが多い場所での使用は短寿命等の不具合が発生する場合があります。
- 100V電源で片切りスイッチを使用される場合は、スイッチを電源の高圧側へ設置してください。
また、200V電源で スイッチを使用される場合は、両切りスイッチを設置してください。
(器具消灯時にLEDが微発光する原因となります。)
- 半導体スイッチ式人感センサスイッチとの組合せは出来ません。リレー接点式人感センサスイッチを使用して下さい。

株式会社 ホタルクス

東京都港区芝1-7-17
〒105-0014 <http://www.hotalux.com/>

＜お客様相談室＞
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00～12:00 13:00～17:30
(土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)
FAX. 0748-61-2330

製品概要

※1:100%出力時

器具タイプ	器具形式	配光角	定格電圧	周波数	※1 入力電流			※1 定格消費電力	光源色	色温度	保護等級
					100V	200V	242V				
直付形	DRGE17H03(MP)G/ND-PJX8	広角 100°	AC100 ~242V	50/60Hz	0.47 A	0.56 A	1.12 A	108W	昼白色	5000K	IP65

器具重量について

■ 器具重量を確認し、取付部の強度に問題がないかご確認ください。

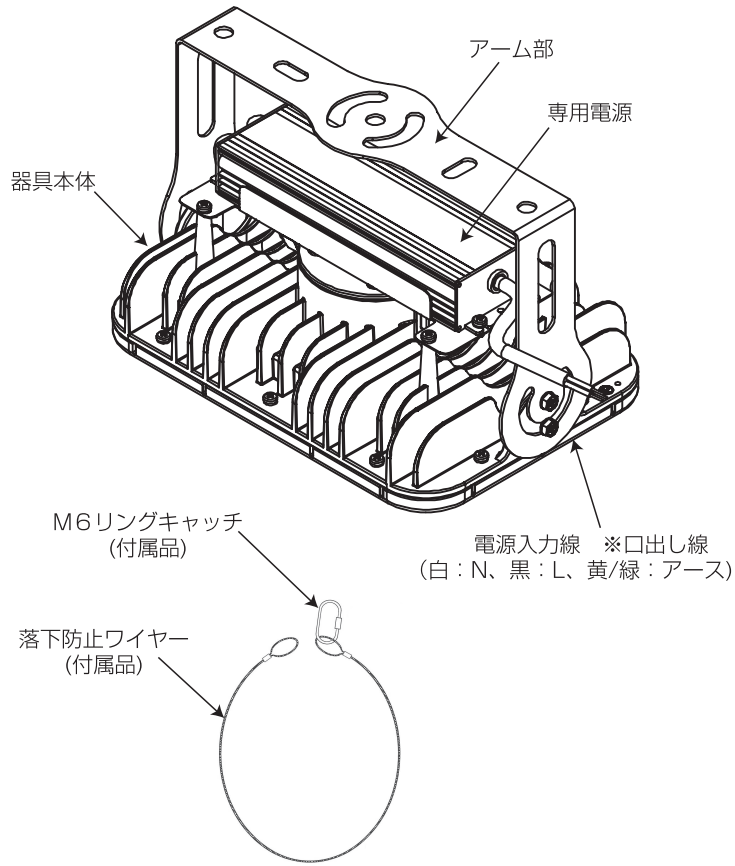


器具重量に耐えるところに取り付けてください。
(落下の原因になります)

- 取付面は、平滑な面に取り付けてください。
- 取付面に凹凸がある場合、取付ボルトにナットや平ワッシャー等で取付面の水平なるように調整してください。(取付ボルトの出代は50mm以内を目安に設置してください。)

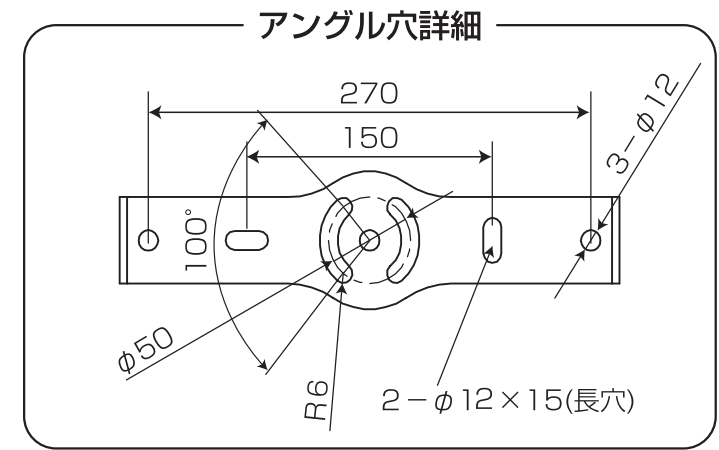
型 名	器具重量
DRGE17H03(MP)G/ND-PJX8	約5.0kg

各部の名称について



取付部寸法

- 下記寸法に合わせて、取付ボルトを施工してください。
- 取付ボルトは、M10、またはM12のスタッドボルトを施設してください。

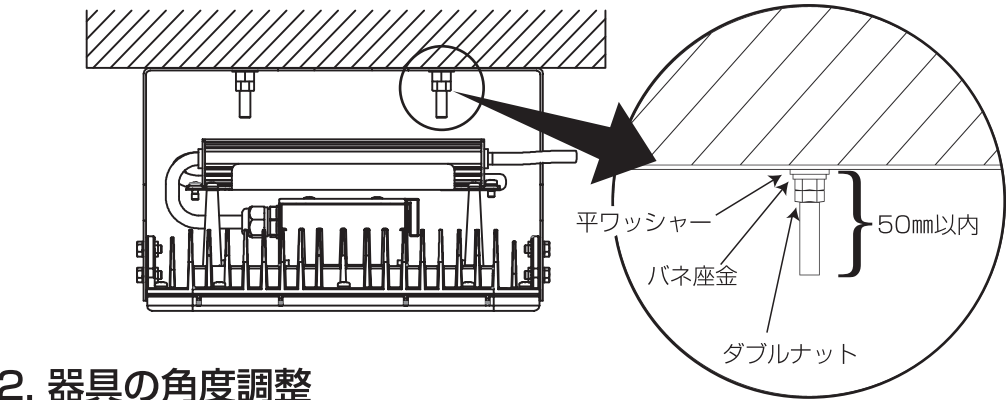


1. 器具の取付

- 器具の取付時は、安全上2人以上で作業を行ってください。
- 器具の取扱は、アーム部を持って作業してください。
(電源部や器具配線部を持たないようにすること)
- アーム部の取付穴(φ12×15長穴 2箇所)を使用し、M10(またはM12)の設営されたスタッドボルトに平座金、バネ座金、ナット(ナットはダブルナット)を用いて、緩みのないように確実に固定してください。
(推奨締め付けトルク M10: 25N・m、M12: 35N・m)
- 付属された落下防止用ワイヤーは必ず使用し、建物の堅牢な箇所に固定してください。ネジを使用して固定する場合は、M8以上のサイズを使用してください。
《注意》ワイヤーの取付に不備があったり、万が一の器具落下衝撃に耐えられない箇所への施工を行うと、器具落下による事故の原因となります。



器具の取付は確実に行ってください。
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

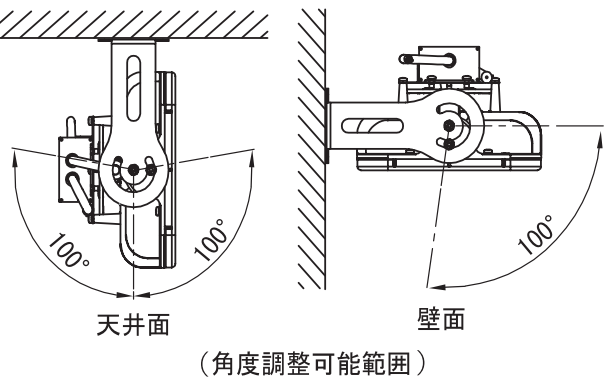
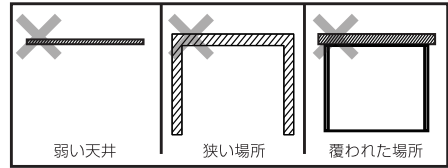


2. 器具の角度調整

- 壁面や発光部に傾斜をつけて使用する場合、アーム部の角度調整ネジをゆるめ調整を行ってください。調整後は必ずネジを締め付け固定してください。
(推奨締め付けトルク 5.2N・m)

(取付け方向)

- ・設置高さは、照射物より1m以上距離を取ってください。
- ・下記のような方向への取付けは禁止です。
(器具落下、器具故障の原因となります)



壁面に取付時は、アームの両端の2箇所の穴と、その他1箇所以上の穴を必ず使って確実に固定してください。
角度調節用ボルトは確実に締め付けてください。
締め付けが不完全な場合、落下の原因となります。

2. 電源線の接続

電源線(アース線含む)及び調光線(調光信号を入力する場合のみ)の接続

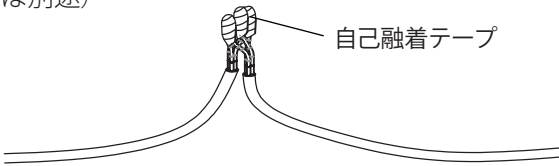


厳守 電源線、調光線を接続する場合、電源が入っていないことを確認してから行ってください。

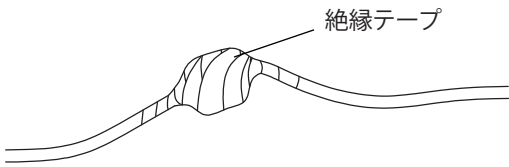
- 電源線、アース線を器具の口出し線(アース線付)に接続してください。
- 接続部は確実に絶縁・防水処理を行ってください。
- アース線の処理は必ずD種(第3種)設置工事を行ってください。
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条及び第12条に従い行ってください。
(内線規定1335-7に準ずる)
- 接続作業の際に、ケーブルをつかむ・引っ張るなど強い負荷をかけないでください。
ケーブルが抜ける等、防水機能低下の要因となります。
- 接続したケーブルは必ず保持してください。
- 口出し線の接続は、圧着端子・スリーブ等で確実に行ってください。
- 電源電線は600Vキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用してください。
- 出荷時は調光線の末端処理を施していますので、ご使用時は外してください。
- 調光線を接続する場合も、電源線と同様に接続部の防水処理を確実に行ってください。

◇電源、および調光線の口出し線接続方法(例)

- ①. スリーブ等を使用し、結線後の接続部は自己融着テープを巻いてください。
(スリーブ、自己融着テープは別途)



- ②. ケーブルのシース(外被)隙間からケーブル内部に水が浸入しないよう、接続部とケーブルを確実に自己融着テープを巻いてください。
その上から、絶縁テープを巻きつけ、水が結線部に浸入しないように注意してください。
(絶縁テープは別途)



警告 接続が不完全な場合、感電・火災の原因となりますので確実に行ってください。

調光信号が入力されると、初期照度補正機能は解除されますが連続点灯時間はカウントを続けます。